

# 令和3年度「無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業(地域新MaaS創出推進事業)」「事業性に重点を置いた過疎地域型MaaS実証実験」(島根県美郷町)

## 選択テーマ・フィールド

テーマ	C. 需要側の変容を促す仕掛け
フィールド	<p>名称: 島根県美郷町粕淵・沢谷・浜原・吾郷地区                  面積: 133.97km<sup>2</sup>      人口: 2,714人(H27年国勢調査)                  美郷町の総人口: 4,900人、拠点都市(大田市)の人口: 35,166人                  美郷町在住通勤・通学者の利用交通手段: 自家用車82%(島根県74%)                  隣接する大田市、川本町及び邑南町とともに人口約5.4万人の大田圏域を構成している。拠点都市である大田市との間は国道375号で結ばれており、路線バスが平日7往復運行している。</p>

## 地域の交通課題

- 島根県の中央部にある過疎地域であり、少子高齢化とともに人口減少が進んでいるため、公共交通の利用者減少が顕著である。
- JR三江線の廃止後、代替バス等が運行されているが利用者数は少ない。
- 生活の2次拠点施設が集積する大田市(20km)までは、石見交通の路線バスが運行しており、朝の通学時間帯では着座できないくらいの利用者数であるが、それ以外の利用者数は少ない。毎年の赤字補填額は非常に高額な状況である。また、大田市内の拠点施設分布が点在しており、複数施設利用の利便性が低い。
- 町内移動について、町営バスとデマンド型乗合タクシーが運行されているが、利用者数は少なく利便性向上による移動活発化が不可欠である。
- 利用者数減少に加えてコロナ禍の影響もあり、路線バスやタクシー事業者の厳しい経営が続いている。

## 社会実装に取り組んでいる新しいモビリティサービス

事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内移動の利便性向上と町内タクシー事業者の存続と経営維持発展を両立する公共交通として、定額乗合タクシー計画中</li> <li>路線バスの赤字削減策と拠点都市内での利便性向上</li> <li>まちなかにおける付加的な移動サービスとしてのシニアカー等の活用</li> </ul>
想定利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車を自由に利用できない以下の属性を想定</li> <li>①女性、75歳以上、買物・通院・娯楽</li> <li>②男性、80歳代、買物・通院・娯楽</li> <li>③男女、高校生、通学</li> </ul>

## 実証実験の概要

- 検証命題・検証手法
- 町内移動で計画されている定額乗合タクシーについて、1カ月の利用料金の妥当性、及び事業性を検証する必要 ⇒ 各種利用実績データと経費から採算性を検証
  - 路線バスの欠損額低減に向けて便別ダウンサイジングの効果検証が必要 ⇒ **バス事業者の運行に係る詳細な経費を用いて、便別ダウンサイジングの運行。変動費の低減・固定費増加をシミュレーションして事業性を検証。**

【実施目的】  
 美郷町内における町内・まちなか・拠点都市の移動利便性を向上させ、高齢者等の移動を活発化させるとともに、持続可能な地域交通実現に向けた検証を行う。

【実施概要】  
 実施場所: 島根県美郷町粕淵・沢谷・浜原・吾郷地区、実施期間: 2021年12月1日～2月末、想定利用者数: 定額乗合タクシーの会員数60人  
 運行形態: 定額乗合タクシー(道路運送法4条、区域乗合、定額運賃)、付加的サービス: まちなかでのシニアカーシェアリング(有償)

The diagram illustrates the service flow across three zones: 町内 (Town), まちなか (Machinaka), and 拠点都市 (Base City). In the 町内 zone, a home icon is connected to a taxi icon labeled '乗合タクシー'. In the まちなか zone, icons for a hospital, a senior car (シニアカー), a supermarket (スーパーマーケット), and an ATM are shown. In the 拠点都市 zone, icons for a JR station, a shopping center (ショッピングセンター), a specialized hospital (専門医療機関), and a general hospital (総合病院) are shown. A '乗り継ぎ拠点' (Transfer Point) is indicated between the zones, with arrows showing the flow of services and users between them.

## 実施体制

団体区分	団体名(実施内容・役割)
代表団体	(株)バイタルリード(実証実験の実施・取りまとめ等)
参加団体	石見交通(株)(②路線バスの運行)、おちハイヤー／駅チヨンタクシー(有)(①定額タクシー運行)、KCCSモバイルエンジニアリング(株)(IPフォンを活用した利用促進等)、JA三井リース(株)／三井住友海上火災保険(株)(ビジネスモデル検討他)、広島大学／鳥取大学(学術的検討)、美郷町(本事業協議会の運営・事務局)